



京都高齢者大学校

北近畿校 通信

第3号 2018年1月

北近畿校運営委員会

事務局発行

「知的好奇心を刺激され、毎回楽しみ！」
「勉強は楽しい！ もっと多くの人
参加すればいいのに」

2018年度講座の募集が
始まります。
5講座×各8回に
ボリュームアップ！
詳細はパンフレットで

初年度の講座、いかがでしたか？

時事講座

- 知的好奇心を刺激され知るを知ると言いますか毎回楽しみに聞かせて頂いてます。知らないことが多すぎて「へーほー」とおどろく事が多いです。
- TV、ネットで入る情報でなく、違う切り方のはなしは面白く聞けた。

歴史講座

- 内容が多岐にわたり、楽しく聞きました。「天の橋立」の回が聞けなくて非常に残念！
- 京都北部の話題でとても興味がありました。午前中の用事を切り上げて間に合うように参加しました。退職してから、いろんな情報を入れることはとてもうれしいことです。
- いずれの講座も興味深く拝聴しました。詳細な資料に基づき、講師の方の丁寧な説明に感銘を受けた。

健康講座

- 芦田先生の講義はわかりやすく親しみやすく楽しい講座です。東照正先生の講義は実生活に即役に立つ講座で来てよかったです。忘れることも多いですが脳の活性化、身体のためにも役に立っています！
- 永く老人ホームに携わっていたこともあり、一層の理解を深めることができたと思います。

「北部でもぜひ開校して欲しい」の声を
受け、福知山公立大学の全面的なご
協力を得て開校した北近畿校。受講生
のみなさんには好評の内に、初年度の
講座もいよいよ最後となりました。

新年度の講座を設定するにあたり、受
講生の皆さまにもアンケートを取らせ
ていただきました。皆さまのご希望を
参考に、新年度はさらに学ぶ意欲の沸
く講座をと準備しました。まだこの学
びの場をご存知ない方々にも広げてい
ただきながら、新年度の受講登録もよ
ろしくお願いいたします。

なお、受講者の広がりを目指して、
2018年度より「京都高齢者大学校北近
畿校」から「京都社会人大学校北近畿
校」に名称を変更します。

併せて、この北近畿校の運営委員も募
集します。より充実した大学校にする
ため、あなたの力をお貸しいただけま
せんか？



📧 アンケートにたくさんの声を
寄せていただきました。ありがとう
ございました。すべてを掲載するこ
とができませんが、今後ともよろし
くお願いいたします。

第4回の講義と受講生の感想

時事講座 第4回 12/19(火)

講座内容：「現代アメリカ経済
—トランプ大統領の経済学—」

講師：中本悟 氏



興味深い内容でした、
レジメを読み返して復習
します。「派遣安定的秩
序を超えた世界へ」を私
も心から願っています。

第4回は時々刻々の年の瀬、「現代アメリカ経済—トランプ大統領の経済学」と題して立命館大学経済学部教授の中本悟様の講義で学びました。中本教授は、共著で「現代アメリカ経済分析：理念・歴史・政策」があるように、その幅広い見識で、トランプ大統領を誕生させた要因から今日に至る経済的背景、アメリカの内政から外交（FTA 再交渉）までを経済分析を中心にわかりやすく縦横に話され、「トランプの経済学」をとおして逆に「経済学」の原点を考えさせられた講義でした。未来へのキーワードは「覇権安定的秩序を超えた世界へ」。終了後の感想も多く寄せられ「興味深く、大変参考になった」「トランプのわからなかったところが少しわかった」など大好評でした。

興味深く拝聴しました。リーマンショックの直前にカナダ行く途中、デトロイトで半日街中を走った時、自動車関連の会社、ビルが無人になりゴースタウンになっていました。映画の一コマのようで大変ショックを受けました。今日の講義を聞いていろいろ納得した部分がありました。

北丹後地震は経験していませんが、阪神大震災の状況がよみがえってきました。2日後現地を見てきましたが、大ショックを受けました。しかし、今はその面影はあつという間にありません。後世に語り継ぎ何かの役に立つことを。

歴史講座 第4回 12/20(水)

講座内容：「北丹後大地震と峰山」～災害と語り継ぎ～
講師：井口 和起 氏

今後30年以内にM9クラス大地震が十勝沖で起きる可能性が7～40%であるという報道があった直後の講座で、今から90年前に起こった北丹後大地震を柱にして、風化しやすい大災害の「語り継ぎ」をどうしていくのかの内容であった。

最初に高齢者なら聞いた事がある曲「白い花のさくころ」を聞く。この歌を作ったのは峰山町出身「田村しげる」氏であり、この大地震で肉親を亡くし好意を寄せていた女性との悲恋や早死が元になって出来た北丹後大地震の記憶の歌であった。この曲の成り立ちを知っていたら、歌を聴く度に北丹後大地震を思い出すように、大災害の語り継ぎは、「行政機関等の記録・震災話や体験談・慰霊塔・記念館・歌等」色んな取組がある事を具体的に聞く。

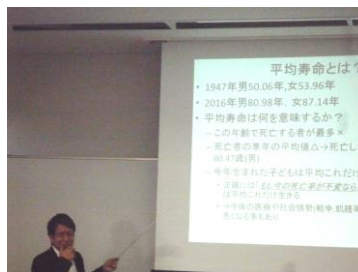
最後に、東日本大震災で現地で津波にあった様々な文書の再生に参加された井口先生の苦勞や体験をお聞きした。

近くに住んでいながらこれほど奥の深い話をうかがったことはなく、もっと知りたいものです。

表面だけのデータや一般的なメディアの調査結果で判断しがちだが、その背景をいろいろ知ることの大切さがわかりました。

健康講座 第4回 12/21(木)

講座内容：「目からウロコの寿命のはなし」
講師：岡本悦司 氏



今まで考えていた寿命のイメージとは違う内容で驚いた。長生きをすることがめだたいことなのかとも思ってしまうが、寿命は自分で決められないし、健康寿命を延ばす事に重点を置くしかないは今では考える。

平均寿命が日本一と聞けば食べ物がいいとか空気がいいからと思われがちです。かつて沖縄県は男性の長寿日本一の県でした。岡本先生は、「厳しい沖縄戦を生き抜いてきた”生きる力”のある男性が、一時期の長寿日本一を形成した」という仮説を立て、様々なデータを説明しながらこの仮説を検証されました。平均寿命とは、亡くなる人の年齢の平均と思っている人が多いだろうけど、正しくはその年に生まれた子どもが、今の死亡率が不変として平均何歳まで生きるのかの予測だから、社会情勢や医療事情で良くも悪くも変わる。という点を押さえることが重要と強調され、参加者からは「寿命の考え方についてもっと教えて欲しい」との声が出されていました。